

平成 26 年度

事業報告書

自 26 年 4 月 1 日

至 27 年 3 月 31 日

公益財団法人南丹市情報センター

平成26年度 事業報告

平成26年度より地域情報通信ネットワーク施設では2年間、国際交流会館では3年間の新たな指定管理協定を南丹市と結び、両施設の管理運営を実施しました。

自主放送番組制作では、園部、八木地域で小学校の再編が実施され、閉校を伴う再編に向けての学校行事や地域の取り組みを積極的に取材、放送しました。

5年後の東京オリンピック・パラリンピック2020に向けて、南丹市内のスポーツ活動を支援するため、法人主催の少年サッカー大会を開催し、情報センターとして初めてのスポーツ番組の生中継放送を実施しました。ニュースでは全国大会や国際大会で活躍する南丹市に縁のあるアスリートやチームを取材し番組で紹介し応援しました。

この他、南丹市出身のダンサーを取材した特別番組の制作等、企画力、制作力の向上に向け注力しました。

施設管理業務では、インターネットの通信速度100メガサービスを開始しました。

平成24年度から取り組んでいる園部地域F T T H化事業においては、毎年度計画されている工事が着実に進んでおり、平成26年度には幹線系伝送路工事や、センター設備工事、制作系設備工事が完了し、加入者宅への引込宅内工事が始まりました。園部地域でF T T H引込宅内工事が完了した家屋から順次B S / C Sパススルーサービスを提供しています。

加入管理業務では、C A T V基本サービスは微増傾向ですが、インターネットは大きく減少傾向にあります。10月の100メガサービス開始に合わせてインターネット加入促進キャンペーンを積極的に実施し、下半期は横ばい傾向に持ち直しました。平成27年度に実施する南丹市高速インターネットスタート拡大事業の計画をまとめ、引き続き加入促進に取り組んでいます。

滞納徴収では、徴収計画に沿って粘り強く取組み、C A T V利用料で現年度の収納率98.5% (164,023,845円)、過年度の滞納分収納率56.1% (3,494,500円)と高い収納率となりました。

国際交流会館の運営では、類似施設の利用状況の情報収集を行い運営方法の改善を検討しましたが、会館の料金体系の見直しまでには至りませんでした。

安心して便利に利用できる施設環境を維持できるよう市と調整を行い、正面玄関天井雨漏りの改修工事を実施していただきました。

地域情報通信ネットワーク施設の管理運営においては、南丹市民にとって必要である放送通信サービスを全市域に安定して継続的に安価に提供するためにはどうあるべきか、平成28年度以降のC A T V運営のあり方について市と協議を行いました。これは平成27年度も引き続き協議を行い、詳細を詰め、平成28年度以降の指定管理業務に反映します。

1. 放送事業

(1) 自主放送

地域や学校と連携を密にして情報収集及び取材にあたり、人と人との絆を結ぶ、また地域の活性化につながる番組作りに励んだ。

週刊ニュースでは、新コーナー「わくわくWORK」を開始した。市内の様々な仕事をテーマに、仕事への想いや面白さ、意外な一面などを紹介し、市民の暮らしと仕事の関わりを伝えた。

(2) 生中継放送

地域のスポーツ団体の協力を得て、公益財団法人南丹市情報センター主催の少年サッカー大会を開催し、なんたんテレビとしては初めての取り組みとなるスポーツ番組の生放送を行った。競技の様様を生中継し実況、解説と共に放送した。

京都南丹市花火大会や南丹市成人式も生中継放送した。その他に南丹市議会本会議の様様や、京都府知事、南丹市長、衆議院議員の選挙開票速報を行った。

(3) 防災への取り組み及び災害発生時の広報

災害時に緊急放送をするための体制整備や緊急情報の伝達方法、情報カメラ等の整備について市関係課と協議、調整を行った。

8月の台風11号では南丹市災害対策本部（総務課）との連携により、避難情報や交通情報等の緊急放送を翌日夕方まで放送した。

8月豪雨、10月豪雨についても緊急放送した。

今後の取り組みとして、媒体の特性を活かし、映像と音声を活用したわかりやすい情報伝達方法の構築を検討している。

(4) 小学校再編

小学校再編では園部、八木地域で10校が閉校になるため、再編に向けての学校行事や地域の取り組みを積極的に取材し放送した。閉校記念行事、閉校記念地域行事は全て収録し放送した。閉校する各校の取り組みや校内の風景、歴史等を、新設する小学校ごとにまとめて放送する特別番組を制作中。5月に放送予定。

(5) 市民参加の番組作り

「市民の情報広場」で視聴者投稿ビデオにより、地域の伝統行事、レポート、謝恩会の様子等を放送。番組への市民参加を呼び掛け、作品を制作したい個人やグループを支援し参加者の意識高揚を図った。

(6) 企画力・制作力の向上

企画力、制作力の向上を図るため、制作係内で「企画」「技術」グループに分担し、企画段階の取り組みに注力した。小学校再編や少年サッカー大会等で実践した。今後この取り組みを進展させ、企画会議で企画内容の方向性や番組構成を提案していく。

企画番組では、意欲のある職員の企画を採用し、その職員が受け持つ他の業務を係全体で調整して取り組み、「夢への階段」（八木町出身のダンサーを取材）を制作した。

【定期番組】

- ・週刊ニュースもぎたて☆テレビ（週間ニュース番組）
南丹市内や近隣地域のニュースを取材。（年間 423 本 前年度 335 本）
特集（ピックアップ）、市民活動や生活に密着した話題を取材。
（50 本 前年度 50 本）
わくわくWORK（新コーナー）、様々な仕事をテーマに取材。
視聴者からのお便り（51 本 前年度 43 本）
赤ちゃんお祝い情報（167 件 前年度 151 件）
Happy Birthday 5才（新コーナー）
番組テーマソングを地元ミュージシャン Sweet&Bitter. に制作依頼し、オリジナル曲「MOGITATE」をオープニングとエンディングで使用。
- ・企画番組「夢への階段」
南丹市出身で夢へ向かって広く頑張っている若者にスポットを当て、その想いや苦悩などを紹介。第2回は八木町出身のダンサー 安井達矢さん
- ・まちかどぶらっとーク！
地域の人達、暮らし、宝、地域情報等をレポーターが現地を訪ね紹介。
① 園部町本町～新町編 ② 日吉町田原編 ③ 美山町大野編
④ 八木町氷所編 ⑤ 園部町若森編
- ・地域の話（市内の地域に残る伝統文化・地域行事等を紹介）
美山町檜原 川上神社のからす田楽
- ・市民の情報広場
視聴者投稿ビデオにより、地域の伝統行事、レポート、謝恩会の様子等を放送。
（11 本 前年度 8 本）
- ・スクールフェイス
小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育所等との連携を深めて情報収集を行い、入学式・卒業式・運動会や合宿、修学旅行、学習発表会、イベントなど、各校の特色ある取り組みを多数紹介した。学校からの提供による番組枠を充実させ、より見やすくなるように編成した。（170 本）
平成19年度に各校に支給されたビデオカメラの経年劣化により、入学式や運動会などの撮影に支障が出てきたため、市地域振興課より新しいビデオカメラを支給していただいた。学校の先生を対象にカメラの撮影・収録講習を行った。
- ・特集番組
市内で行われた講演会、高校や各種団体のコンサートや舞台等を放送。（74 本）
- ・協働みつけた！（南丹市企画 広報番組） ※南丹市発見物語から名称変更
南丹市と南丹市まちづくりデザインセンターが協働で企画制作を行う番組。
市内を中心とした協働によるまちづくりの事例を紹介するほか、協働とは何かについて授業形式で伝える。
- ・図書館だより（南丹市立図書館・図書室 広報番組）
一般書と児童書の最新刊 80 冊と各図書館の 69 行事を紹介。
- ・南丹市くらしのあんない版（南丹市企画 広報番組）
市のお知らせを紹介（36 本）、隔月で消防・防災啓発や食育について紹介。
- ・ふれあいひろば（南丹市企画 人権尊重啓発番組）
男女共同参画や虐待防止など人権啓発に向け、各種団体の取り組みを紹介。
- ・まゆまろと京都丹波（京都府南丹広域振興局制作 広報番組）
南丹市を始め、亀岡市、京丹波町の魅力を放送した。

- ・ふくしの森（社会福祉協議会、地域活動支援センター、福祉施設等の広報番組）
各事業所の活動報告
- ・J Aトピックス（J A京都制作 農業関連情報番組）
園部支店と日吉支店から営農情報や活動報告などを放送した。（50本）
- ・かんたん！体にいいレシピ（南丹市企画 食育番組）
- ・なんたんテレビ学舎（教育委員会企画 家庭学習支援番組）
国語・数学・英語の3教科、高校受験対策として新たに15本を制作し、既存の番組と共に放送した。

【特別放送】

- ・生中継番組
南丹市議会本会議（6月、9月、12月、3月）
京都府知事・南丹市長選挙 南丹市開票速報（4/6）
第68回京都南丹市花火大会（8/14）
衆議院選挙 南丹市開票速報（12/14）
平成27年南丹市成人式（1/11）
2014年度じゅういちくんカップ少年サッカー大会（1/25）
- ・入学式・運動会・卒業式
市立4中学校と園部高校附属中学校の行事を収録して放送。
小学校、幼稚園、保育所は、学校が撮影したビデオの提供により、編集して放送。
- ・文化祭
各地域から76団体の発表を収録して放送。

【緊急情報】

災害時に緊急放送をするための体制整備や緊急情報の伝達方法、情報カメラ等の整備について市関係課と協議、調整を行った。

8月の台風では南丹市災害対策本部（総務課）との連携により、避難情報や交通情報等の緊急放送を翌日夕方まで放送した。

- ・台風11号：データ放送25回、文字放送15枚
- ・8月の豪雨：データ放送27回、文字放送19枚
- ・10月の豪雨：データ放送3回、文字放送3枚

今後の取り組みとして、媒体の特性を活かし、映像と音声を活用したわかりやすい情報伝達方法の構築を検討している。

【文字放送・TV週報】

各種団体・公共機関・学校等からのお知らせを放送。京都府南丹広域振興局、税務署、警察署、消防署など広域の依頼にも対応。依頼数が年々増加傾向にある

文字放送：757件（前年度673件） TV週報：40件（前年度33件）

※緊急情報は含まない。

【CM放送】

ニュース番組内で7団体のCMを放送（有料広告3本、公共広告4本）

高屋組・Z A Q・あけぼの学園るり溪奈・南丹警察署（サーバー犯罪対策）・
社会を明るくする運動・赤い羽根共同募金・京都府知事選挙啓発

【年賀広告放送】

なんたんテレビの文字放送枠を利用して、南丹市内の団体・企業向けに年賀広告放送を実施。今回は、南丹市商工会員に案内書類を配布した。22 団体から応募を受けた。（前年度 21 件、放映期間：元日～3 日、広告料 5, 0 0 0 円）

【マスコットキャラクター】

南丹市情報センターのマスコットキャラクター「じゅういちくん」の出演依頼が多数あり地域イベントなどに出演。これらの行事を取材して広報協力を行った。（8 回）

（7）隣接ケーブルテレビ局との連携強化、広域的な取り組み

南丹市情報センターで制作した少年サッカー大会や確定申告 P R を京丹波町 C A T V で放送した。京丹波町 C A T V と南丹広域振興局が制作した獣害対策情報を南丹市情報センターで放送した。素材や番組の提供、取材の協力を継続して行った。

京丹波町 C A T V との幹線接続やサービス面での運営協力等、連携強化については先方の人事異動等により進展していない。

京都府与謝野町とは番組交換について協議、調整を行い、準備を行っている。

（8）ホームページのリニューアル

南丹市情報センター及び国際交流会館のホームページのデザインをリニューアルし、併せて法人の各係から直接入力し情報発信できるよう更新した。

（9）第 2 コミュニティーチャンネル

なんたんテレビの第 2 チャンネルについて、調査により送出設備の構築は可能であった。有用性や放送内容については、生中継（議会・イベント・防災・災害時等）や学校関連番組等の番組数の増加に伴う番組編成枠の分散等を考慮し、今後の運用面の検討が必要である。

（10）テレビ・ラジオ再放送

万全を期して放送受送信設備の保守管理を行い、安定したテレビ・ラジオの再放送を提供した。

自主放送 1 波

なんたんテレビ

地上テレビ放送 再放送 8 波

NHK 総合（京都放送局）・NHK 教育・毎日放送・K B S 京都・朝日放送・テレビ大阪・関西テレビ・読売テレビ

B S 放送 再放送（トランスモジュレーション方式） 9 波

NHK B S 1 ・NHK B S プレミアム・B S 日テレ・B S 朝日・B S - T B S ・B S ジャパン・B S フジ・B S イレブン・T w e l l V

B S / C S 放送 再放送（同一周波数パススルー方式・園部 F T T H エリア）

B S 放送 3 1 波 C S 放送 5 6 波

F M ラジオ放送再送信 4 波

F M 8 0 2 ・NHK F M ・F M 大阪・α ステーション

【データ放送サービス】

なんたんテレビ（11ch）のデータ放送として、地域気象情報、台風等の災害時の緊急

情報、地域情報、生活情報、イベント情報、学校からのお知らせ、なんたんテレビ文字ニュース、京都新聞文字ニュースを提供した。

2. 通信事業

(1) インターネットサービスの通信速度高速化 (100M)

◇FTTH (光ファイバー/100M)

◇HFC (光・同軸ハイブリッド/10M)

平成26年10月からFTTHエリアの通信速度を30Mから100Mに変更し、利用者にとって快適なインターネット環境の提供を開始した。

HFCエリアでは、園部地域FTTH化事業を進めており、引込宅内工事が済んだ利用者から順次100Mサービスを提供している。(10M→100M)

平成27年11月末で引込宅内工事が完了し、平成28年4月から園部地域の利用料金をFTTH料金に改定予定。

(2) あんしんネット教室

小学校の児童や保護者を対象に安全にインターネットを利用するための講座を開催した。

- ・日吉町 胡麻郷小学校 (10/30)
- ・美山町 鶴ヶ岡小学校 (11/5)
- ・八木町 吉富小学校 (11/20)
- ・園部町 西本梅小学校 (12/6)

(3) シニアパソコン講座

さくらPCクラブとの共催企画として、初心者を対象にした高齢者向けパソコン講座を開催。パソコンの起動からイラスト入りの文書作成まで、ワードの基礎を内容とした講座を6月に開催し、10名が受講した。また、エクセルの表計算から見栄えのある表作り(かんたん家計簿づくり)まで、エクセルの基礎を内容とした講座を2、3月に開催し、9名が受講した。(10名の応募があり、1名欠席)

3. 施設管理業務

(1) 工事件数 (平成26年4月～平成27年3月)

◇新規加入・解約・休止・復旧・移設等 工数858件 (前年度789件/69件増)

◇支障移転等による幹線工数 125件 (前年度126件/1件減)

(2) 施設管理

施設の安定運用を図るため、センター、サブセンター(以下SC)、伝送路等の保守管理体制を整備し、南丹市担当課と調整を図りながら各施設、設備、機器類の保守点検、設備更新、機器交換等の管理業務を実施した。

園部地域FTTH化事業では、管理・運営を考慮した設備となるよう支援・提案を行い、施工業者の指導等を行った。

今後のサービス提供や施設構築のため調査を実施した。

- ・園部地域F T T H化事業に伴う支援・提案
- ・インターネット通信速度高速化（1 0 0 M）
- ・自主放送制作設備の編集・送出システムの更新
- ・国際交流会館内W i - F i （フリースポット）の構築
- ・自主放送番組のアーカイブ化の調査・提案
- ・中継車（中継システム）導入に向け調査・提案
- ・法定同録装置導入に伴う調査・提案
- ・機器展示会の視察、技術セミナーの受講等

（3） 園部地域F T T H化事業の推進及び技術協力

平成26年度上半期で園部地域F T T H化事業伝送路工事（幹線系）及びセンター機器等整備工事が完了した。事業の一部として、自主放送制作設備のうち編集システム、番組送出システムの更新も行った。引き続き、平成27年11月完了を目指して引込宅内工事を開始した。

情報センターからは供用開始後の管理・運営を考慮した設備となるよう提案を行い、工事進捗に合わせた技術支援を行った。

（4） 中継システム

平成23年度より八木町花火大会・国民文化祭・成人式等の生放送を開始し、毎年生中継を行ってきた。機材やシステムで課題が多く、中継番組を増やしていくには中継車の導入が必要であり、南丹市担当課と協議・検討を行ってきた。市の平成27年度予算要望では見送りとなりましたが、リース契約での導入に向けて協議、調整を行っている。

（5） 議会中継システムHD化

平成25年度より議会放送の生放送を開始した。議会収録システムは導入から9年が経過し故障が頻発している。議会事務局に機器不調の状況を説明し設備更新に向けての協議を行い、市の平成27年度予算に計上された。現在、導入に向けた仕様作成のため運用上の意見等を提案している。

（6） 自主放送番組のアーカイブ及びVODについて

自主放送番組の過去の映像は、南丹市の資産です。過去の映像を編集に利用する機会が増えている。しかし、これまでの既存メディアでの保管に劣化が見られることから、早期に他のメディアへのダビングが必要であり、その方法を調査・検討し、平成27年度予算に要望したが、見送りとなった。

VODサービスについては、システムの調査及びサービス会社によるデモ見学を実施した。

（7） B Sパススルー及びV-ONU（利用者側端末装置）遠隔制御

園部地域F T T H化事業により新型V-ONUを設置した利用者から順にB S / C Sパススルーサービスの試験運用を開始した。園部以外でも早期のサービス提供が必要であるが、V-ONU遠隔制御システムの全市導入については、市との協議により園部地域F T T H化事業が完了してからの取り組みとなる。財源及び補助事業による既設機器の耐用年数が課題となっている。

(8) 法定同録装置について

平成22年に改定された放送法にて、放送結果を3か月間保存することが義務付けられている。(法定同録)放送法改定から4年が経過し、法定同録システムの導入に向け市担当課と協議、検討を行い、平成27年度に導入予定となった。

(9) 交流会館内Wi-Fi (フリースポット) 構築

国際交流会館は多くの市民が利用する公共施設であり、より一層の会館の活用、並びに利用者の利便性向上を図るため、スマートホンやパソコン等をインターネットに接続できる環境整備として、イベントホール及び1階ロビー付近にWi-Fi (フリースポット) を構築した。

4. 加入管理業務

(1) 加入管理

【CATV基本サービス (平成27年3月末)】

◇加入者数	13,891戸	
(平成26年3月末	13,806戸	増減数 85戸増)
◇課金対象者数	11,230戸	
(平成26年3月末	11,210戸	増減数 20戸増)

【インターネットサービス (平成27年3月末)】

◇加入者数	4,898戸	
(平成26年3月末	4,809戸	増減数 89戸増)
◇課金対象者数	3,207戸	
(平成26年3月末	3,317戸	増減数 110戸減)

【BSプラン (平成27年3月末)】

◇課金対象者数	402戸	
(平成26年3月末	405戸	増減数 3戸減)
◇STB設置台数	465台	
(平成26年3月末	470台	増減数 5台減)

CATV課金対象者数について、園部町で48戸、八木町で7戸増加しているが、日吉町で10戸、美山町で25戸の減少となった。園部町の増加については、国が指定していた「新たな難視地区」(地形などの影響により通常のアンテナで、安定的に地上デジタル放送の視聴が難しい地域)対象者が、有線テレビ加入時に係る初期費用の一部について国の支援を受けて加入(39戸)されたことが主な理由である。減少は、転居等が主な理由となっている。

インターネット課金対象者数では、園部町で54戸、八木町で31戸、日吉で35戸の減少。一方、美山町で10戸の増加となった。平成26年10月から開始したFTTHエリアでの通信速度100Mサービスや、インターネット加入促進キャンペーンを実施するなど、新規加入者の獲得や利用者の流出抑制に努めたが、上半期で111戸減少(新規と復旧79件、休止と解約190件)、下半期で1戸増加(新規と復旧104件、

休止と解約103件)となっており、平成26年9月までの利用者減少に歯止めがかけられなかったことが主な理由である。

(2) インターネット加入促進、加入者減少対策、広報について

インターネット加入促進キャンペーンを10月(100メガサービス開始キャンペーン)及び2月(お友達紹介キャンペーン)に実施した。10月の100メガサービス開始については、南丹市全戸にチラシを配布し、新たな取り組みでCMを制作、放送し、新規加入者獲得と休止者へ利用再開を促した。2ヵ月半の期間で目標の60件を達成した。

園部町、日吉町、八木町で開催されたイベントにPRブースを設け、主にインターネットキャンペーンのチラシ配布等の広報活動を行った。

平成27年度に実施する、南丹市高速インターネットスタート拡大事業の企画立案に参画し、4月から事業開始できるよう準備を整えた。

(3) CATV、インターネット利用者へのサービス向上

放送、通信について理解に乏しい方や操作が苦手な方へ丁寧なアドバイスやアフターケアを行い、電話問合せで判断、解決できない案件には速やかに訪問対応を行うなど、利用者の要望に応えた。

(4) 消費税率改定に伴う新料金体系について

平成26年4月から消費税率が8%となり新料金体系になった。CATV、インターネットの新しい料金表や配布物を作成し、市のお知らせやホームページ、文字放送等を活用した広報を行い、大きなトラブルもなく対応できた。

(5) 園部地域FTTH化事業の広報について

上記事業の引込宅内工事は加入者宅への直接工事となることから、市民への周知を図り、工事等での混乱を軽減させるため、市担当課と調整を行い、市のお知らせやホームページ、文字放送等を活用して頻繁に広報を行った。また、休日も含めた工事現場事務所での連絡体制を整えた。

(6) CATV加入時の引込工事費の一律化

引込宅内工事が始まり、平成27年度に工事が完了すると南丹市全域がFTTHエリアになることから、新規引込工事費用を一律にすることで利用者にとってわかりやすく加入しやすくなるよう方法を検討した。

単価契約で行っている工事を年間契約にする事で一律化が図れないか施工業者と協議を行ったが、年度ごとに工事件数が変動し、年間の総額に大きな差が出るため、発注者、受注者共に実態とかけ離れる可能性があるため実現しなかった。

他に方法がないか、他のケーブルテレビ局の情報など調査を行います。

(7) 利用料金の滞納徴収

徴収計画に基づき、6月と11月の2回、催告通知及び過年度滞納分の請求を実施。連絡が取れない等の悪質な滞納者については、停止予告及び停止決定通知書を送付して対応した。

CATV利用料	現年度収納率	98.5%	(164,023,845円)
	過年度滞納分収納率	56.1%	(3,494,500円)
インターネット利用料	現年度収納率	99.7%	(114,236,060円)
	過年度滞納分収納率	88.6%	(283,500円)

(8) 休止者への対応

CATV及びインターネットサービスの加入者で、5年間の休止者に対して、休止期間満了に伴う案内書及び加入継続意志確認の通知を発送。併せて加入促進用のリーフレットを同封し、サービスの復旧を促した。

5. 南丹市国際交流会館

【利用状況（平成27年3月末）】

◇利用回数	1,650回	(前年度 1,671回)	21回減
◇利用人数	29,758人	(前年度 24,380人)	5,378人増

(1) 国際交流会館の利用促進

類似施設である、園部公民館の利用状況の情報収集に留まり、交流会館の料金体系の見直しまでには至らなかった。

(2) 国際交流事業

国際交流協会との共催イベント「なんたにあんKids「カーニバル」」の開催及び広報協力を行った。

(3) 計画的な施設修繕

安心して利用できる施設環境を維持できるよう、費用抑制を図りながら、施設の定期点検や設備の保守等を的確に実施した。

正面玄関天井雨漏り修繕は市との調整により実施した。会館西口外構陥没箇所の修繕については平成27年度に持ち越しとなった。

(4) 消費税率改定に伴う新料金体系について

平成26年4月1日からの変更に合わせて、料金表や配布物の料金表示を変更した。新料金決定の前に会館利用予約されていた場合は、料金改定の説明を行った上で、利用料金の差額を徴収した。今回の料金改定については大きなトラブルもなく対応することができた。

6. 地域活性化支援事業

(1) 地域のスポーツ・文化活動を支援・協力

5年後の東京オリンピック・パラリンピック2020に向けて、南丹市内のスポーツ活動を支援するため、法人主催の少年サッカー大会を開催し、法人としては初めてのス

スポーツ番組の生中継放送を実施した。

また、オリンピック等の大きな競技大会に出場する可能性を秘めた、ライフル競技、陸上棒高跳び、自転車ロードレース、野球、カヌー等、全国大会や国際大会で活躍する南丹市に縁のあるアスリートやチームを取材し番組で紹介することで、未来のトップアスリートを市民と共に応援した。

(2) 高等教育機関の取り組みを情報発信

各種の高等教育機関の取り組みを、CATVを利用して情報発信すると共に、市内外に伝えるコンテンツの制作等を行った。

(3) 情報教育・社会体験への協力

児童、生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等の受け入れを行った。

- ・施設見学 小学校8校、幼稚園1園
- ・勤労体験 園部中学校2年生2名、八木中学校2年生1名

(4) 講師等派遣

- ・南丹警察署 一日警察署長（派遣）
- ・神吉小学校 話し方教室（講師派遣）
- ・NHK放送研修センター・ケーブルテレビの緊急災害放送研修（講師派遣）
- ・三重県CATV局・緊急災害放送の基礎研修（講師派遣）